

横浜市多文化共生市民活動支援補助事業 令和6年度の補助対象事業を募集します

横浜市には 160以上の国・地域の、11万人を超える外国人の方々が暮らしています。

横浜市多文化共生市民活動支援補助事業は、地域において市民団体やNPO法人が実施する事業に補助金を交付し、日本人と外国人との相互理解を深め、誰もが活躍できる社会に繋げることで、多文化共生のまちづくりを進めていく取組です。

令和6年度の本事業について、次のとおり補助対象事業を募集します。

【募集概要】

○対象事業：(1)日本人と外国人の相互理解の促進に寄与する事業

(事業例) 多様性を理解し尊重し合う意識を育てる取組
文化、芸術、スポーツ等を通じた交流・活躍促進など

(2)在住外国人の生活支援に寄与する事業

(事業例) 外国人への生活ガイダンスや困りごとを解決するための取組
子どもの学習支援、居場所づくりなど

(3)地域日本語教育の推進に寄与する事業

(事業例) 身近で学べる日本語教室など

(4)在住外国人の活躍促進に寄与する事業

(事業例) 職のスキルや資格への挑戦の支援
青少年のキャリアデザインの支援など

○補助対象期間：令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)

※申請時点で既に事業が終了している場合、対象外となります。

○補助金額：上限20万円/件(補助対象経費の総額)

○募集団体：5団体程度

【募集期間】

令和6年3月22日(金)～5月10日(金)必着

【応募方法】

所定の様式に記入し、Eメール等にてお申込みください。

※詳細は募集要項をご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/kokusai/kyosei/tabunkahojokin.html>



※本事業は、横浜市区において令和6年度予算が議決されることをもって、実施します。

お問合せ先

国際局政策総務課多文化共生担当課長 廣瀬 綾子 Tel 045-671-4718

団体名称	補助対象事業名・事業概要
共生のまちづくりネットワーク よこはま	【ウクライナ語版お薬手帳の作成による避難民支援】 ウクライナ語版お薬手帳を作成し活用してもらうことで、ウクライナ避難民が地域で自立し安心して生活できる一助とする。
多文化共生スポット ワールドキッズ 根岸教室	【外国につながる小中学生の居場所づくり・学習支援】 外国につながる小中学生に寄り添い、居場所となる学習会を毎週開催し、勉強だけでなく困りごとに対して力になることで子どもたちの夢の実現の一助となる。
NPO 法人 神奈川区多文化共生の会	【神奈川区らしい多文化共生の在り方を考える】 神奈川区らしい多文化共生の推進を目指して外国人区民と一緒に検討する場をつくり、日本語教室を増やし、外国人受入体制を整える。
NPO 法人 リンクトゥミャンマー	【ミャンマー人の生活就業支援と心の共生の推進】 在日ミャンマー人の生活や就業を支援し、日本での生活を保障すると同時に、日本人と在日外国人をつなぐ取組を行い、「心の共生」を推し進めていく。
Picture This Japan	【外国につながる若者のプラットフォーム運営及び若者のスキルアップ】 市内在住の外国につながる若者達が主体的に発信・情報提供するプラットフォームの運営と、若者のスキルアップを目指す。

<参考> これまでの採択団体の活動状況（令和4年度）



NPO 法人横浜金沢国際交流の会
ワークショップ「ピニャータ（※）をつくろう」の様子
（※）ピニャータ：南米で誕生日などにお菓子を入れて叩き割る日本のくす玉のようなもの

団体 HP :

<https://www.kanazawalounge.org/npo.html>



NPO 法人リンクトゥミャンマー
在住外国人宅への訪問と交流を行うスタディツアーの様子

団体 HP : <https://www.npoltm.org>



NPO 法人神奈川区多文化共生の会
外国人支援ボランティアのスキルアップ講座の様子

団体 HP : <https://www.kanagawa-ku.com>